

須知飛行場設置

0800

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

供覽

供覽

軍令部

軍務局

第三課

第一課

藤田

海

海

軍

11. 22
田利

二二七

二二七

京都府須知町民間飛行場設置関係件

米倉航空部第一隊長紹介別紙名刺持参、須知町長

外ニ右ト應云、要領左、如シ

一、須知町、京都市、北西約十里ニテ舞鶴ニ通ル

者通ト山陰通ト、分岐点ニテ舞鶴ニ通ル

國部驛、距北西約十里（附圖参照）

町、京都市、北西約十里ニテ舞鶴ニ通ル

廣衣一里、京都市、北西約十里ニテ舞鶴ニ通ル

指定、京都市、北西約十里ニテ舞鶴ニ通ル

郵政局ヲ補助一萬五千圓ノ下付ク要スル其地ニ
京都府経営ノ苗圃ヲ

昨年未京都、発行所安井某須知所西方約半里
ニ在ル其地(十字名院内曾根)ノ荒蕪地等ヲ利用シテ
民内発行場ヲ設置シタルノ希望アリ因テ町約
二十万坪ノ地均ニノ上無償ニテ之ニ提供スルニテ
目下工事中ナリ

今般其筋ノ援助ヲ仰テ爲上京航空會ニ出資ス、
同會共官ヲ海軍ニ一應申入レ置ク必要アルニシト
注意ス受ケスニテ未者々々ナリテ御頼ノ点ハ
同発行場ノ民間ハ勿論陸海軍ノ利用爲御使用ニ
供シ自然同発行場存在ノ宣傳ニハ機會ノ得タルト
ナリ

二、同航行の改定、新しき最良の面積を、その之が設置一
動機等、新の質由をい

従来院内部落、約二千戸ノ年、その附近、土地ハ
破確ニシテ耕地トシテノ價值全シキ為、近年却落、其
轉出相續、今ヤ三十戸内外トナリ、此等ノ以テシテ
斯等、また、その部落全滅ス、（こト破滅ナル因テ附近
其基、また、その畑地等ノ利用、こト航行場設ケ、決シ
タ、ル、ニ、シテ、之ト經營者、出所、ト、新キ、苦心、中ナリ、ナリ、

三、右ニ對シテ、官ハ大要左、通テ、（置）ナリ

海軍の目ト、水上航行機ノ主用、こ、所、ハ、コ、最、良、ニ
須知、航行場ノ利用、者、機、會、之、ナ、キ、一、兩、年、後、ニ
航空母艦等ノ舞、踊、可、能、入、泊、其、艦、載、一、陸、上
航行機、ハ、自、今、同、航行場ノ利用、者、ナ、リ、ト、海、軍、ト、シ、

(誠心堂稿)

大々便宜ヲ得人しと思ひん但し右航空母飛撃の事情未
 鰐・磯泊しなえアサシハ右定行場利用ハ年一ニ回
 行事ニシテ廻に復時ト承知アリタリ往テ多大希
 ヲ海可シカケウシサハ様改メ
 然し海可トシテハ事情ノ許ニ限リ須知右行場ハ相当
 ノ援助ヲ致スルハ著スサレ
 四、餘程ハ右帝國ハ航空母飛撃遠ハ海陸ノ國
 併フノハ右行場改メ國ニシテ相持久カキ至
 フル及漫ク思ハル希知ヲカサハ様ニ致サレ
 告ケテヤリ

(3)

右行場遷定ノ國ハ航空母飛撃ノ山本海軍大尉

七ノ三ノアトト

海軍

高橋大佐殿

航空局事務官

陸軍歩兵大佐 米倉 長

須知町長 須知町長 須知町長
須知町長 須知町長 須知町長
須知町長 須知町長 須知町長

船井郡須知町長

岩崎平造

渡邊常三郎

京都府船井郡須知町

立憲政友會京都支部幹事

吉田九一郎

京都府船井郡須知町

(誠心堂納)

0805
0806

江戸書方中
下サイ

船井郡須知町長
岩崎平造

立憲政友會京都支部幹事
吉田九一郎

京都府船井郡須知町

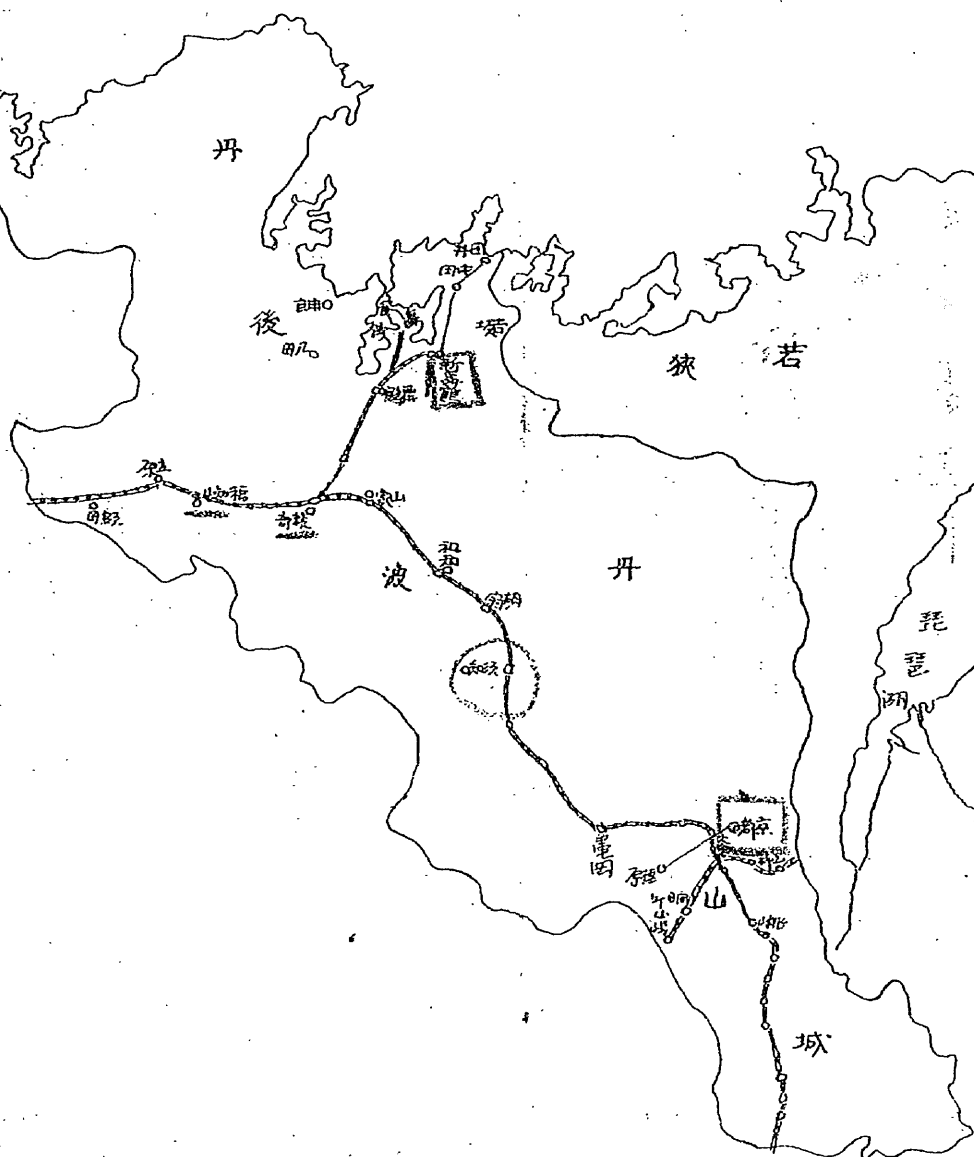
渡邊常三郎

京都府船井郡須知町

海軍

0805
0806

圖畧府都京



0807